

まらまらレシピ vol.13

日増しに暖かくなってきましたね。今回は旬の春キャベツをふんだん使った「春キャベツとじゃこのピリ辛和え」をご紹介します。春キャベツは他の季節に収穫されるものと比べてビタミンCは1.3倍、カロテンは約3倍多く含まれており、抗酸化作用や美肌効果が期待できると言われています。やわらかくてみずみずしい春キャベツを皆さまも是非お楽しみ下さい。（栄養室）



●作り方

- ① 春キャベツは洗って、耐熱容器に入れてラップをかける。少ししんなりする程度に電子レンジで加熱した後、水気を切り、ひと口大に切る。
- ② 小さめの鍋(またはフライパン)に、ごま油とにんにくのみじん切り、種を取って小口切りにした赤唐辛子を入れて弱火にかける。にんにくの香りが立ったら、ちりめんじゃこを加えてカリカリに炒める。
- ③ ②を①にかけ、塩・黒こしょうを加えて全体を混ぜ合わせる。

春キャベツとじゃこのピリ辛和え 材料(2人分)

春キャベツ	3～4枚	ごま油	大さじ2
ちりめんじゃこ	20g	塩	少々
にんにく(みじん切り)	1/2片分	黒こしょう	少々
赤唐辛子	1/2本分		

お知らせ

平成31年度 練馬光が丘病院 区民健康講座

「腎不全について」

～慢性腎臓病(CKD)教室～

腎臓内科部長 藤巻 道孝

日 程：平成31年3月16日(土)
14:00～15:30

場 所：練馬光が丘病院
地下1階 大会議室

※事前に申込が必要になります。先着100名
※下記申込先までご連絡をお願いいたします。
なお、満席になり次第受付終了となります。

申込・問合せ先：地域連携相談センター
月曜～金曜 9:00～16:30
TEL: 03-3979-3611(代表)
内線: 3156

Spring Concert

第10回 きらきらコンサート

日 時：2019年3月22日(金)
17:15 開演(17:00 開場)

場 所：練馬光が丘病院 1F
外科外来受付前

お問い合わせ先：総務課
TEL: 03-3979-3611
月曜～金曜 9:00～16:30

練馬光が丘病院は「公益社団法人地域医療振興協会」の運営施設です。地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に1987年5月に設立され、2009年12月1日より公益社団法人として新たにスタートしました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

発行元：練馬  光が丘病院

〒179-0072 東京都練馬区光が丘2-11-1
TEL: 03-3979-3611(代)
<http://hikarigaoka.jadecom.or.jp>

きらきらレター

Kirakira-Letter

平成31年3月

第56号

公益社団法人地域医療振興協会 練馬  光が丘病院 広報紙



もくじ

診療看護師について	2	きらきらレシピ vol.13	4
ぽっちゃり新人が聞いてみた	3	お知らせ	4

診療看護師について

1. 診療看護師とは

看護師として5年以上の臨床経験を有し、厚生労働省の指定を受けた大学院で医学的知識、技能の教育を受けつゝ修士学を修了し、日本 NP 教育大学院協議会の認定試験を合格した者です。患者さまのために医師と相談しながら一定の診療行為も提供することのできる看護と診療の能力を併せ持つ看護師です。



診療看護師
加藤 恵美

2. 診療看護師を目指そうとした動機

看護師として、3次救急病院で胸部心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、泌尿器科、集中治療室、心臓血管系集中治療室、救急、透析室、心臓カテーテル室、手術室など急性期で勤務してきました。外来、検査、入院、集中治療…どこでも、いつもいつも「医師待ち」で苦痛のある方々をお待たせすることが多く「その辛い時間を少しでも短くできないか、手助けできないか」とジレンマを感じていた時 Nurse Practitioner(NP)の存在を知りました。日本でも、諸外国のNPを参考に診療が行える看護師の養成が大学院で始まったと知り、診療看護師になって少しでも「医師待ち」を解消したいと思い、診療看護師を目指そうと思いました。

3. 当院における診療看護師としての活動

当院では1名の診療看護師が活動しています。NP認定を受けた後2年間の臨床研修を修了し「がん診療に携わりたい」と思い、外科に所属し活動しています。外科は火曜日を除く平日は手術日となっています。看護哲学を基盤に医師の指示のもと、緊急入院の初期診療、周術期管理、緩和ケア、退院調整、多職種連携など、主に入院患者さまの診療を行っています。時に、外来や外来処置等にも介入しています。また、褥瘡チームの一員として週1回全病棟の褥瘡の診療や以下に記します特定行為研修の受講者などの看護教育にも関わっています。

4. 特定行為に係る看護師研修制度について

2015年10月1日に法律が改訂され、特定の医療行為に対し一定の条件を設け、厚生労働省に登録すると、看護師でも医師の指示のもと医療行為が施行できるようになりました。診療看護師は特定の医療行為も可能となっています。また、この特定行為のみの研修を受けた看護師も院内にいます。「特定ケア看護師」と呼び、現在、研修中です。どうぞよろしくお願いいたします。

5. 皆さまへのご挨拶

診療に関わるが増え、すべてにおいて慎重になってしまいますが、外来、病棟、手術室といったセクションを超えて、看護師と医師の両方の視点から縦断的横断的に、より深く患者さまと関わるようになりました。

院内ではえんじ色のユニフォームを着用し活動しています。何か困ったことがある時、話したい時等、何でもかまいません！この色のユニフォームをみしたら、いつでもお気軽にお声かけください。

入院患者さまだけでなく、外来や退院調整、医療連携等で地域住民、地域医療の皆さまと関わることもあるかと存じます。私も微力ながら皆さまのお役に立てるよう、日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



今回のインタビューは、**事務部 事務部長 大村 重雄 さん**に伺いました。

Q1…事務の仕事内容を教えてください。

A. 組織規程上は「事務部長は、上司の命に従い、事務部に属する業務を総括し、その管理監督に当たる。」となっています。経営判断のための情報収集と経営者への提供と下された経営判断を実行・実現するための計画立案と実行、そして進捗を管理し調整する。

Q2…今の仕事に就いた「きっかけ」は何だったのでしょうか？

A. へき地等の地域医療の確保と質の向上を目指した公益法人で地域振興に貢献したく、地域医療振興協会に入りました。

Q3…医療系の事務の仕事をするにあたって何か資格はあるのでしょうか？

A. 不可欠な資格はありません。病院は資格を持った専門職が集まった職場において、事務職は患者・利用者と職員等へのサービスマインドをもって裏方として支えていく仕事と思います。

Q4…この仕事のやりがいとは何ですか？

A. 一緒に働く皆さんが少しでも快適に、笑顔になって元気よくなれば幸いです。収益が上がればより実現できると考えています。

Q5…では最後の質問です。好きなご飯のおかずはなんですか？理由もお聞かせください。

A. カレー
飽き難く、無難な味が想定できて万能で早く食べられる。

ありがとうございました。
それではまた次号でお会いしましょう。

このコーナーでは当院に
入職した職員を紹介します。